

# 秘宝館



から再起へ... 西暦2000年後の人類

火船製

入場料全長  
御18歳  
¥1350  
団体  
16名以上 ¥1300  
26名以上 ¥1250  
51名以上 ¥1150  
101名以上 ¥1050  
営業時間  
AM 9:00 PM 5:00

都築響一

SAMPLE

## INEDX

イントロダクション 『秘宝館の記憶』	7
北海道秘宝館	13
野生の王国・東北サファリパーク	141
HIHOKAN 夢	180
伊香保 命と性ミュージアム 女神館	192
鬼怒川秘宝殿	270
熱海秘宝館	288
国際秘宝館	306
元祖国際秘宝館鳥羽館・SF 未来館	461
お山公園	591
別府秘宝館	634
嬉野武雄観光秘宝館	680
ROADSIDE LIBRARY 発刊にあたって	773

## 読み方ワンポイント・アドバイス

### <パソコンで読む場合>

#### ● Mac

プレビュー：

「表示」で「連続スクロール」ではなく、「単一ページ」を選択すると読みやすい。

#### ● Windows

リーダー：

右クリックで下部に現れるツールバーから、「連続ページ」ではなく「単一ページ」を選択すると読みやすい。

Microsoft Edge：

ツールバーから「ウインドウサイズに合わせる」アイコンを選択すると読みやすい。

#### ● どちらでも

Adobe Acrobat Reader：

「表示」の「ページ表示」で、「スクロールを有効にする」ではなく「単一ページ」を選択すると読みやすい。

「表示」の「ズーム」で、「幅に合わせる」ではなく「ページレベルにズーム」を選択すると読みやすい。

### <スマートフォンで読む場合>

#### ● iPhone

iBooks：

特に設定の必要ありません。

#### ● Andoroid

Google PDF Viewer：

特に設定の必要ありません。

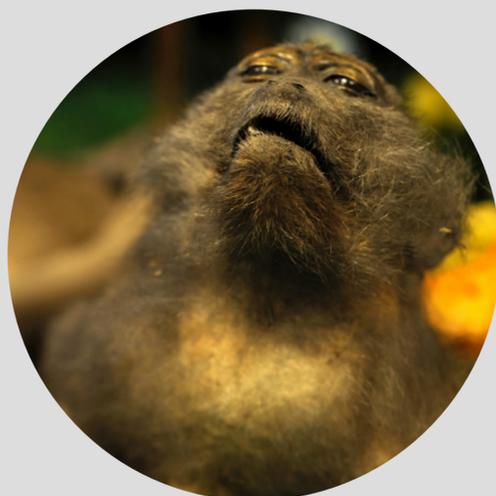
#### ● どちらでも

Adobe Acrobat Reader：

下部のメガネアイコンで、「連続」ではなく「単一ページ」を選択すると読みやすい。

Kindle：

特に設定の必要ありません。



## 秘宝館の記憶

はじめて秘宝館に足を踏み入れたのは1995年、三重県鳥羽の国際秘宝館・SF未来館だった。いまから20年以上前になる。

その当時、すでに寂れた商店街のなかで、ひととき寂れた風情の秘宝館には、ほかに観客もいなかった。だよんだよんにテープが延びたラウンジ風BGMに導かれながら、薄暗い室内をおそるおそる歩いていくうち、突然バサバサッという大きな音がして、思わず足がすくむ。よく見るとそれは、壁の一角に開いた穴から自由に出入りするハトが、めったにない来訪者に驚いて、一斉に飛び立ったのだった。

日本で初めての秘宝館である伊勢の元祖国際秘宝館と、その分館である鳥羽の秘宝館は、そのころ創始者の松野正人さんから、2代目である松野憲次さんに経営が移っていた。鳥羽の秘宝館があまりにおもしろくて、そのあと伊勢の本館にも足を伸ばして取材させてもらい、それからしばらくしたころ、人を通じて「鳥羽の秘宝館が閉館するらしい」という情報が入ってきた。

あんなに素晴らしいインスタレーション・アートをビルごと潰してしまっていていいのだろうか、いてもたってもいられない思いで松野社長にお会いし、偶然に年齢が一緒だったこともあって話が弾み、けっきょく鳥羽の展示物のうち、もっともユニークだったSF未来のインスタレーションを買い取らせてもらうことになった。ちょっといい自動車が買えるくらい、人から見れば大したことない金額だろうが、そのころの自分にとっては、なけなしの貯金をはたいて、という覚悟だった。展示物には動きのあるものもいくつかあって、写真だけでは記録として完全ではないので、自費でアダルトビデオの

チームを雇い、閉館後に3日間ほどかけてSF未来のフロアを動画で撮影してもらいました。その動画データはいま、自主制作DVDとして細々と手売りを続けている。



鳥羽から引き取ったインスタレーションは、マネキンだけで数十体。それに大型の背景装置、無数の小道具。まさか自分の家に入れておくわけにもいかないのに、埼玉県のはずれに倉庫を借りて、しまい込んだのがたしか2001年ごろ。収蔵というより「仮安置」という気分だったが、その1年後に開催された「第1回・横浜トリエンナーレ」で、鳥羽の閉館以来初めて、お披露目する機会がやってきた。

僕を参加作家に選んでくれたキュレーターは、もっと穏当な写真プリントの展示を望んでいたようだが、どうしてもこれで!と粘っているうちに、時間切れで秘宝館のコレクションを展示できることになり、しかし「場所は会場のいちばん隅っこ、そして子供連れも、皇室も(!)訪れるので、外から絶対に見えないようにカーテンで展示空間を目隠しすること」という条件がついていた。

主催者から提供された空間は、もともとの鳥羽のフロアの数分の一しかなかったので、展示はオリジナルを大幅に縮小したダイジェスト版にするしかなく、しかも分厚いカ

カーテンで内部はまったくうかがえず、18歳未満入場禁の立札付き、というハンディを背負ったが、カーテンで見えないせいなのか、18歳未満禁のせいなのか、入場待ちの列がときには2時間近くになるという人気の展示になった。

それから恵比寿のギャラリーでいちど、1ヶ月ほど展示する機会があり、青山のデザイン・イベントでこれまた大幅なダイジェスト版を、3日間だけ見せることができた。2010年には広島市現代美術館での個展の際に大がかりな再現を、2013年には新宿御苑そばのギャラリー新宿座で『新宿秘宝館』という展覧会を実現できたが、それ以来人形たちは倉庫で埃をかぶったまま。むしろ外国のアート関係者のほうが興味を持ってくれるようで、2008年にはルクセンブルクの現代美術館で完全版を見せられることになり、マネキンやセットを満載したコンテナ2個が海を渡っていった（展覧会終了とともに、埼玉の倉庫に戻ってきてしまったが）。



そのあいだにも日本の秘宝館文化は衰退の一途をたどり、2007年にはついに伊勢の元祖国際秘宝館が落城。多くのファンを悲しませたが、美術館や博物館などからはまったくアクションがないままだった。三重には立派な県立美術館も博物館もあるのに。

自分のような一介のシロウトが、わざわざ毎月の倉庫代を払って、見せられる当ても

ないコレクションを抱えて、いったいなにならなるんだろう。そう悩んでいたあるとき、大阪の国立民族学博物館から講演の依頼を受けたことがある。

せっかくだからと、僕は鳥羽や伊勢の秘宝館のことを、写真を交えながらいぶんしゃべらせてもらった。電車に乗れば大阪から伊勢なんてすぐの距離だし、閉館してしまう前にぜひいちど足を運んでください!と壇上からお願いし、講演が終わったあとで博物館の学芸員たちと話し込んだ。

ご承知のとおり、大阪の民博は日本最大級の民族学博物館であり、世界各地の膨大な民族学コレクションを収蔵している。でも、お膝元の鳥羽や伊勢で、これほど世界に類を見ない「現代のフォークアート」が消えようとしているのに、どうして救いの手を差し伸べないんですかと聞いたときに、「気持ちはわかるけど、ここは公立だから、エロとグロは扱えないんです」と言われたのを、僕はいまでも忘れない。エロとグロのない民族学なんて、ありうるのだろうか!? それとも遠くの国のものはよくて、自分の国のものは収集に値しないのだろうか。それが世界トップクラスの経済大国であるわが国の、文化行政の現実なのだった。

これまでに巡ってきた秘宝館の記録は、2009年に『秘宝館』という小さな写真集にまとめることができたが（アспект刊）、長らく版元品切れ状態で再版の見込みもないことが、この電子書籍を制作する動機になった。全部で11カ所の秘宝館を収録したが、そのうち2016年春現在で存続しているのは、伊香保の『命と性ミュージアム 女神館』と『熱海秘宝館』の2館のみである。

ほかにも秘宝館、あるいは類似した名前がつく施設は日本全国にたくさんあるが、それらは春画とか、木製の男根だとか、むしろ民俗的な範疇に属するコレクションを展

示るものであって、今回はエログロの妄想を「等身大」のインスタレーション空間に表現する観光商業施設に限ることにした。エロティックなコレクションを展示するミュージアムはヨーロッパやアジア各国にもいくつかあるが、ここに掲載する秘宝館のように純粋なエンターテインメントとしてエロ・インスタレーションを展開する空間は、日本のほかにほとんど例を見ないからだ。



ほかに類例のない、ということがクリエイティヴであろうとする人間にとっては、いちばんうれしい褒め言葉なのだが、世の中的にはどうもそう思わない人がたくさんいるらしい。ほかに類がないから評価できない、ほかに例がないから価値がない——そう考える人たちがこの国の文化行政やミュージアムの運営を牛耳っているかぎり、秘宝館も、そしてほとんどすべてのポピュラー・アートも、未来に残すことはできない。

2007年に元祖国際秘宝館が閉館したとき、「あー、そのうち行こうと思ってたんですよねえ、残念!」という言葉、ずいぶんいろんな人から聞いた。これは自戒を込めて言うのだが、思ってるだけで行動しないのは、まったく思わないのと同じだ。もしかしたら、もっとタチが悪いかもしれない。

公的機関がなにもしてくれなくたって、お客さんがたくさん来てくれて、入場料収入が充分にありさえすれば、秘宝館はちゃんと存続していった。秘宝館を見捨てたのは役人でも学芸員でもない。それは僕であり、君なのだった。

いまではインターネットで検索すれば「秘宝館」で無数のサイトがヒットするし、イベントを開くごとに実感するのだが、特に秘宝館の黄金時代である1970～80年代には生まれてすらいなかった若い「秘宝館ファン」が、いまになって増えている。彼らにとって昭和の秘宝館とは「エログロ」ではなくて、「エロかわいい」存在なのだろう。奇抜で、ポップで、ノスタルジックな。

オールドスクール・デザインのラブホテルからピンク映画まで、昭和のエロを「再発見」できるのは、言い方を変えれば「知らない世代」の特権でもある。僕にできるのは消えていくものを記録することだけだが、それらをノスタルジックに楽しむだけではなく、いまの世代が、いまの時代の新しい秘宝館をつくるヒントにしてくれたらと願わずにいられない。1960年代の終わり、世の中がサイケデリックに踊っていた時代に、会議で全員に反対されて秘宝館の成功を確信した、元祖国際秘宝館の松野社長のよう





北海道秘宝館

焼肉・すき焼き・しゃぶしゃぶ 2F

# 北海道秘宝館

珍品

おみやげ



**焼肉  
ランチサービス**

- Aランチ 850.
- Bランチ 1,000.

ランチタイム — AM11:00-PM4:00  
 コーヒー又はジュース付

毎月29日は  
**お肉半額**  
 にて提供致します  
 焼肉&レストラン

北海道秘宝館

焼肉 すき焼き しゃぶしゃぶ

焼肉 すき焼き しゃぶしゃぶ 焼肉 すき焼き しゃぶしゃぶ

北海道秘宝館

レストラン

御深観音

御深観音





**野生の王国・東北サファリパーク**



まゆみ公園





HIHOKAN 夢

館内禁煙





シーバス

伊香保 命と性ミュージアム 女神館





Informational text panels on the wall, likely describing the exhibit or the woman's story. The text is too small to read but appears to be organized into sections with colored headers.





鬼怒川秘宝殿

【**艶容温泉郷恋泥船**】

はてすがたおんせんきょうこいのなびらき  
(1691年)、村人沼尾重兵衛が鬼怒川河岸で温泉を発見、村に共同湯場を設ける。(鬼怒川) 享保八年(1733年)、五のため上流で温泉がえぐり出される(川治) 右記が鬼怒川温泉発端だが、明治初年下野電気鉄道(後に東武鉄道)が開通すると街として急速な発展を遂げた。  
年間宿泊者数二百万人、「東京の奥座敷」「山の熱海」とも呼ばでも代表的温泉歓楽郷となっている。さてここを舞台に、夜になドラマが展開されているのであろうか?





熱海秘宝館



慈悲菩薩

願をかけながらのめに  
お賽銭を当てて下さい。  
うまく命申しますとお慈悲  
が下ります。





国際秘宝館



秘

宝

館

秘

祖

GAME  
you you  
LAND

PARLOR  
NEW SAH 21

ようこそ

秘の空館  
お色気

パチスロ

お色気  
秘の空館



ママ  
ガ  
茶





個室

気軽に  
下着



いのち

秘宝の里

日本唯一実演  
馬の交尾

ポルノ映画  
上着を着る

**元祖国際秘宝館鳥羽館・SF未来館**







水の行女  
no gyozu

お山公園

天国めぐり  
玉 →







別府秘宝館





**嬉野武雄観光秘宝館**









## ROADSIDE LIBRARY vol.001 秘宝館：

PDFフォーマット 全777ページ  
ダウンロード版 2,000円（税別）  
特製USBメモリ版 3,000円（税別）

詳細は以下のウェブサイトから。巨大なサイズのデータ・ダウンロードになるので、担当者が細かくやりとりさせていただきます。

販売ページ：<http://www.roadsiders.com/shop/>  
お問い合わせ：[contact@roadsiders.com](mailto:contact@roadsiders.com)